

自然と人間の共生関係



主人公カイア
- 湿地暮らし＝人生そのもの
- 幼いころから自然と対話

自然からの学び
- 生き物たちの行動パターンを学習
- ⇒ 人間関係の理解に活かす
- 科学的な探究心も育む

孤独と成長の物語

深い傷
- 幼くして家族に見捨てられる
- 「沼地の女の子」として差別



それでも成長
- 読書を通じた知識を習得
- 絵を描くことで自分を表現
- ⇒ 少しずつ自分の世界を広げていく

真実と正義の多面性

物語での殺人事件
- 善悪では割り切れない複雑さ



読者への問い
- 正義とは何か
- 法と道徳の境界線はどこにあるのか
- 人は過去の傷をどう癒せばよいのか

当たり前だという思い込み
- 新しい視点から見つめ直す